



■お問い合わせ  
ゼロカーボン推進課  
412511内線235  
e-mail:zerocarbon@town.shimokawa.hokkaido.jp

■お問い合わせ  
ゼロカーボン推進戦略室  
412511内線235  
☆4-251102



こんにちは。ゼロカーボン推進戦略室です。前回のしもかわゼロカーボン通信では、「ゼロカーボン」とは何かについて紹介しました。今月号では、「二酸化炭素に関するはなし」をテーマに紹介していきたいと思います。

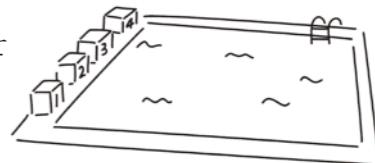
「ゼロカーボン」を目指すうえでは、二酸化炭素を削減することが重要です。しかし、例えば「二酸化炭素1トンの量はいつたいどれくらいなのか、削減するにはどれくらいの森林が必要なのかなど、イメージが湧きづらいですよね。今回は、そんな二酸化炭素の豆知識を、いくつか紹介します。

## 二酸化炭素に関するはなし

### Check!

#### ①二酸化炭素1トンってどのくらいの量なの?

二酸化炭素1トンは、体積で考えると、おおよそ25mプールと同じ大きさです。



$$\text{長さ}25\text{m} \times \text{幅}13\text{m} \times \text{深さ}1.5\text{m} = 487.5\text{m}^3$$

$$\text{二酸化炭素1トンの体積}=509\text{m}^3$$

二酸化炭素1トンは、トドマツの木112本が1年で吸収する量に相当します。(北海道水産林務部林務局の資料をもとに計算)



#### ②二酸化炭素1キロはどのくらい?

二酸化炭素1キロは、体積で考えると浴槽約2杯分と同じ大きさです。



$$\text{浴槽の体積を}250\text{L}\text{で計算。}$$

$$\text{二酸化炭素1キロの体積}=0.509\text{m}^3=509\text{L}$$

#### ③1人が1年間に排出する二酸化炭素ってどれくらい?

1人当たりの年間の二酸化炭素排出量は、全国平均で1.25トン、北海道では2.26トンといわれています。

(環境省 令和2年度 家庭部門のCO2排出実態統計調査より)

いかがでしょうか。1人分の二酸化炭素を削減するだけでも、かなりの量があるというイメージで見た目ではないでしょうか。  
「ゼロカーボン」の達成に向けては、ひとりで取り組んでいくことが大切です。



## 今日から実践!ゼロカーボン 第2回 電気代の節約にもなる! LED電球のススメ

家のリビングなどを照らす電球には、主に白熱電球とLED電球の2つがありますが、より省エネなのはLED電球です。

LED電球に切り替えることで、年間で52.8kgの二酸化炭素が削減できます。

また、寿命も白熱電球より長く、電気代を年間で約2,430円※節約できます。

環境にもお財布にも優しいLED電球、この機にぜひ変えてみてはいかがでしょうか。

※54Wの白熱電球から9Wの電球形LEDランプに交換した場合

※資源エネルギー庁「家庭の省エネ徹底ガイド」より

【みんなが実践している  
ゼロカーボンを募集します!】

## ゼロカーボン NEWS



勉強会の様子

7月4日に、ゼロカーボン推進勉強会「自分ごとに考える『地球にやさしい暮らしかた』とは」を開催しました。町のSDGs推進会議、「ゼロカーボン」、「脱炭素社会」とは何かや、温暖化の原因である二酸化炭素について、暮らしのなかのどのような場面で排出しているかなどをお話し下さい。勉強会の詳細は次ページをご覧ください。

勉強会「自分ごとに考える『地球にやさしい暮らしかた』とは」を開催しました。町のSDGs推進アドバイザーの枝廣淳子氏を講師に、「ゼロカーボン」、「脱炭素社会」とは何かや、温暖化の原因である二酸化炭素について、暮らしのなかのどのような場面で排出しているかなどをお話し下さい。勉強会の詳細は次ページをご覧ください。

しょりんエコポイントで  
ゼロカーボン参加ください!

実施期間 ①2022年7月1日～9月30日  
②2022年12月1日～2023年2月28日  
※利用状況により早期終了あるいは延長することがあります。

受付時間 月～金曜日 9:00～16:00(年末年始を除く)  
土日祝日 10:00～15:00

受付場所 下川事業協同組合

環境に配慮した行動で  
しょりんポイントが貯まる!!  
1ポイント1円でお買い物などに使えます



詳細はコチラ  
(町HP)

### あとがき

下川もようやく夏本番ですね。最近は暖かい日が続いているので、自転車や徒歩での移動にチャレンジしています。が、少し歩いただけで次の日筋肉痛に…。日頃いかに車に頼っているかが身にしました。

それでは、来月のゼロカーボン通信をお楽しみに!(佐藤)